

報道機関各位

2019年5月21日(火)

学校法人 塚本学院  
大阪芸術大学

## アートとテクノロジー、サイエンスの饗宴

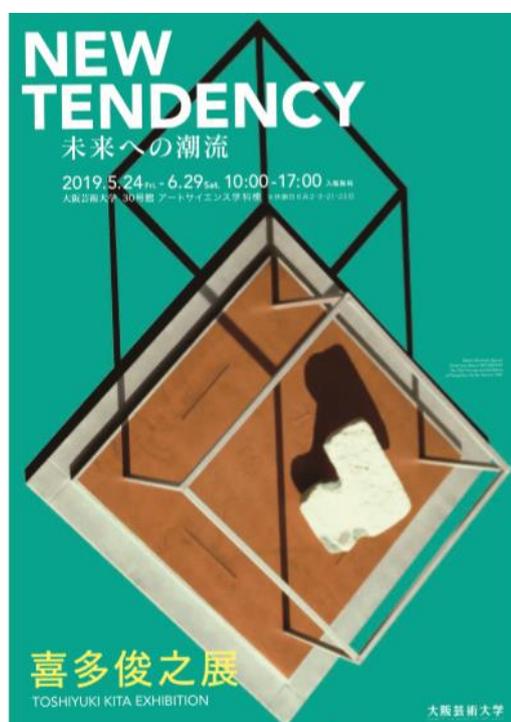
NEW TENDENCY 『未来への潮流』 喜多俊之展

会期：2019年5月24日(金)～6月29日(土) 10:00～17:00

場所：大阪芸術大学 30号館(アートサイエンス学科棟)

(大阪府南河内郡河南町東山469)

大阪芸術大学(学校法人塚本学院/所在地：大阪府南河内郡/学長：塚本 邦彦)は、昨年11月に竣工した新校舎(30号館 アートサイエンス学科棟)にて、プロダクトデザイナーで本学デザイン学科教授 喜多俊之氏の展覧会を開催します。



### NEW TENDENCY 未来への潮流 喜多俊之展

喜多俊之教授の作品は海外や、日本のメーカーから家具、家電、ロボットに至るまで多くのヒット製品を生みだし、作品の多くがニューヨーク近代美術館など世界のミュージアムに永久収蔵されております。

この展覧会の中心となる作品は、1987年にパリのポンピドゥーセンター設立10周年記念として展示公開されたMINERAL SPACE「鉱物空間」。広さ16㎡で、鉄とアルミニウムと銅、それにコンピューター、電気エネルギーなどから成り立っている空間です。当時、新しい時代にどのような住空間が必要とされるのか、「未来に向けての新しい潮流」をテーマに制作されたテクノロジーとサイエンスからなる作品です。同時に、代表作ともなっている自然素材を使った1.8㎡の宇宙、「二畳結界」の精神空間。展示空間となる校舎は、建築家で本学建築学科客員教授の妹島和世氏が設計し、話題となっています。新たなアートを生み出す空間で、喜多俊之教授の代表作をご覧ください。

5月24日(金)には喜多俊之教授によるNEW TENDENCY コンセプトトークを開催いたします。ポンピドゥーセンターで展示された当時のお話を始め、展示作品の解説を行います。



### ■CEREMONY SPACE 「二畳結界」

自然 素材を使った 1.8 m<sup>3</sup>の宇宙。

中に座ると何か心が落ち着き、瞑想の空間を自分自身でイメージすることができます。

この二畳の空間は、漆を塗った木の柱と畳からなり、すべてが植物の空間。

畳の文化と精神の文化のメモリーとして提示。



### ■MINERAL SPACE 「鉱物空間」

広さ 16 m<sup>2</sup>で、鉄とアルミニウムと 銅、それにコンピューター、電気エネルギーなどから成り立っている空間で、主材料は鉱物。

壁面には EL 画面が備わっていて、電子機器を通して表現される光や映像は、人々の心の中のイメージに大きく影響されます。

### <プロフィール>



#### 喜多俊之 (きた としゆき)

大阪芸術大学 デザイン学科教授 芸術研究所所長

1969 年よりイタリアと日本でデザインの制作活動をはじめ、家電、ロボット、家具、家庭日用品、伝統工芸品に至るデザインで多くのヒット製品を生む。ニューヨーク近代美術館など世界のミュージアムに永久収蔵されている。

2011 年イタリア「黄金コンパス賞 (国際功労賞)」受賞。

2017 年「イタリア共和国功労勲章コンメンダトーレ」叙勲。

#### 【開催概要】 「NEW TENDENCY 未来への潮流 喜多俊之展」

・日 時 : 5月24日(金) ~ 6月29日(土) 10:00~17:00  
(休館日: 6月2、9、21、23日)

・場 所 : 大阪芸術大学 30号館 (アートサイエンス学科棟)

#### 【コンセプトトーク】

・日 時 : 5月24日(金) 13:30~14:30

・場 所 : 大阪芸術大学 30号館 (アートサイエンス学科棟)